

倫理審査委員会議事録

日 時 平成27年9月15日 火曜日 13時30分～14時45分
場 所 三重病院外来管理治療棟会議室
出席者 別紙のとおり
議事内容 下記のとおり

(27-22) 在宅医療ケアが必要な子どもに関する調査（迅速審査結果報告）

申請者 (村田博昭)

概要 在宅で常時医療的ケアが必要な18歳未満の子どもの保護者を対象として医療的ケアの内容や福祉サービスの利用状況、家族の状況等について明らかにする。
代表研究者は国立成育医療研究センター倫理審査委員会で承認を受けている。

判定 承認

(27-23) ノロウイルスによる疾病負荷に関する研究

申請者 (谷口清州) (代理：浅田和豊)

概要 人口ベースでノロウイルスの疾病負荷を推測し、流行するノロウイルスの遺伝子型の分布を解析する。
日本医療研究開発機構「下痢症ウイルスの分子疫学と感染制御に関する研究」の分担研究として行う。

判定 承認

(27-24) 入院中の患児に付き添う母親が抱く患児の同胞への思い

申請者 (山風呂歩)

概要 入院する患児に付き添う母親が、患児の同胞に対してどのような思いを抱いているのか明らかにする。

判定 承認

(27-25) 多種アレルゲン感作とアレルギー疾患発症リスクの関連に関する研究

申請者 (長尾みつほ)

概要 アレルゲン感作のパターンとアレルギー疾患発症の関連を明らかにする。

判定 承認

(27-26) 我が国で分離されるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌の分子疫学的解析

申請者 (谷口清州) (代理：小粥正信)

概要 診療の過程で検出されたCREについて、臨床情報とともに分離株を国立感染症研究所で分子細菌学的な検討を行い、我が国におけるCREの状況を検討する。

判定 承認

(27-27) I型糖尿病をもつ子どもの親の災害対策の実際について

申請者 (高田充沙)

概要 I型糖尿病をもつ子どもの親が災害時に備え、子どもとどのような話し合いや取り決めをしているのか、また親自身が災害対策についてどの程度知識や考えをもち、実際に対策をおこなっているのか、災害への備えの実態を明らかにする。

判定 承認

(災害時のマニュアルを提供するなど、親が不安を抱いたままインタビューが終わらないよう配慮)

(27-28) I型糖尿病の子どもの血糖値変動に関する母親の不安について

申請者 (小林冬香)

概要 就学しているI型糖尿病の子どもの血糖値の変動に関する母親の不安についての研究。食事を選択する場合や体育・部活動での低血糖症状の可能性が高い場面での不安。

判定 承認

(27-29) 成人における侵襲性肺炎球菌感染症、全国サーベランス

申請者 (丸山貴也)

概要 2015年3月18日に承認を受けている研究の症例数・研究期間等の変更申請。

判定 承認

(27-30) 肺炎の多様性解明と基礎疾患病態に基づく予防・治療法確立に関する研究

申請者 (丸山貴也)

概要 2014年1月15日に承認を受けている研究の共同研究分担者の追加変更等の申請。

判定 承認

(27-31) 本邦における骨格筋チャネル病の実態に関する研究(筋チャネル病の遺伝子検査とQOL調査)

申請者 (佐々木良元)

概要 筋チャネル病の各病型の本邦における頻度、その中で高頻度な遺伝子異常とその臨床症状など、本邦の現状を把握し、診断・治療の向上に役立てる。ヒトゲノム・遺伝子解析研究については、三重大学病院の倫理審査の承認を得ている。QOL調査については、大阪大学・三重大学でも申請中。

判定 条件付承認(主任研究者の倫理審査承認)

(27-32) 乳幼児喘息に対するフルチカゾン間欠吸入と連日吸入の増悪抑制効果に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較試験

申請者 (藤澤隆夫)

概要 26-34で承認を受けている研究の共同研究者及び研究計画の修正についての申請。

判定 承認

- (27-33) 小児喘息のコントロール状態評価に関する研究：小児喘息用コントロールテストの作成および有用性の評価に関する検討：共同研究施設、研究者の追加について
- 申請者 (藤澤隆夫)
- 概要 25-59で承認を受けている研究の目標症例数、共同研究施設・研究者、研究期間延長の申請。
- 判定 承認
- (27-34) 湿疹を有する乳児の食物感作と食物アレルギー発症に関する前向き観察研究
- 申請者 (立元千帆)
- 概要 特異的 I g E 抗体価の推移に着目し、より精度良く除去の必要性や負荷研究の適応などを判定できる新しい解釈基準の確率を行う。
- 判定 承認
- (27-35) 乳幼児における皮内型インフルエンザワクチン接種についての検討
- 申請者 (長尾みづほ)
- 概要 不活化インフルエンザワクチン有効率の低い乳幼児にも高い予防効果が得られることを目指し、経皮免疫デバイスの効果を乳幼児で検証する。
- 判定 承認
- (27-36) 小児摂食障害におけるアウトカム尺度の開発に関する研究
- 申請者 (鈴木由紀)
- 概要 4月から開始している小児の摂食障害の診療に従事している多施設医療機関による前方視的疫学研究に関し、予後評価に必要な因子の抽出、予後に影響を与える因子の解析を行っている。対象症例を後方視的に起立性調節障害症例のコントロールを定める。
- 判定 条件付承認（主任研究者の倫理審査承認）